

# 八潮市内で発生した道路の陥没に伴う 下水道の使用制限ご協力のお願い

## 下水道の使用制限ご協力のお願い

八潮市内で発生した道路の陥没に伴い下水道の使用制限が通知されました。下水道をご使用になっている皆様におかれましては、埼玉県の下水道が復旧するまでの間、お風呂やお洗濯、台所からの排水など、下水道への排水をできるだけ減らしていただきますようご協力お願いいたします。

- ・お風呂の残り湯を極力流さない
- ・洗い物等では蛇口をこまめに閉める  
など、ご協力をお願いいたします。

問合せ先：下水道課 048-922-2286（内線 2314・2387）

## 埼玉県より

### 1. 対応被況（各部局からの報告）

#### ○下水道局（詳細は添付資料）

- ・汚水があふれる可能性を受け、引き続き、改めて水道の利用制限を要請中。各自治体では SNS や防災無線等で周知している。
- ・国土技術政策総合研究所、日本下水道事業団、日本建設業連合会、埼玉県建設業協会の協力を得て、今後の対応方針を検討中、現地の状況調査のための機材を手配中。
- ・日本下水道管路管理業協会の協力を得て、春日部中継ポンプ場から中川幹線へのバキューム車による汚水移送を開始。
- ・今後の対応は、原因究明と応急復旧工事の検討・実施、同様の下水道管の緊急点検。
- ・本対応における受援状況：国土交通省本省、国土交通省関東地方整備局、国土交通省国土技術政策総合研究所、日本下水道事業団、日本建設業連合会、埼玉県建設業協会、日本下水道管路管理業協会

#### ○県土整備部

- ・国にリエゾン派遣を依頼済。今後の道路復旧段階への対応を想定し、広域的な交通規制や情報提供について助言を得る。
- ・インフラ事業者（NTT、電力、水道等）と情報共有チャンネルを設置。被害状況の調査依頼中。NTT光回線は断線し復旧見通しは立っていない。
- ・陥没箇所からの被害拡大対策として、路面の下の空洞化調査を実施。（本日午後から）立入区域以外の総距離3.5キロの県道等で実施。
- ・下水道局に連絡員職員を派遣し土木の見地から抑制対策等を検討。
- ・排出抑制を県建設業連合会など30団体と速やかな協力要請を行う予定。

#### ○企画財政部

- ・東部地域振興センターでは、春日部地方庁舎内の事務所を集め下水道の使用制限を周知をした。

#### ○県民生活部

- ・県民向け広報として、HP、ラインなどで情報提供済。
- ・伊奈町の県民活動総合センターに大浴場等の利用規制を要請している。
- ・NPO法人への情報発信、HPで外国人（4言語→今後7言語）で情報提供、その他文化・スポーツ団体等には電話やメールで下水道使用制限の協力依頼済。

#### ○福祉部

- ・避難指示の半径200メートル以内に高齢、障害児童の福祉施設なし。その他含め施設からの被害もない。八潮市は福祉避難所を設置せず、現時点で開設の予定なし。
- ・下水道利用自粛は、高齢者等施設へ利用者の処遇に支障がない範囲で対応依頼済。

#### ○産業労働部

- ・春日部ふれあいキューブなどの県機関、工業団地等、大規模小売店舗等への利用抑制依頼済。その他商工団体を通じ協力依頼済。

#### ○会計管理者

- ・指定金融機関65機関に支店等への排水抑制の協力依頼済。

#### ○教育局

- ・該当地域の全小中高の学校にできる範囲で利用抑制を依頼済。

#### ○総務部

- ・該当地域の私立小中学校、幼稚園等に利用抑制を依頼済。送迎バスのルートを変更が4校。高校入試は本日影響なし、明日2校あるが実施予定。

#### ○環境部

- ・化学など使用する企業等約500事業者に制限要請した。
- ・関係団体の浄化槽協会等へ協力依頼。

#### ○保健医療部

- ・現地にはドクターカー配置。
- ・県立大学、71の病院に診療に支障がない範囲で利用抑制を協力要請。

#### ○農林部

- ・該当地域の下水道を利用する畜産農家1、5市場等へ利用抑制を要請済。5つの農協にも依頼済。

#### ○都市整備部

- ・対象の4県営公園に利用抑制の協力依頼済。本日大きなイベントなし。
- ・県営住宅73団地（約4,500戸）に対し、自治会長を通じ協力依頼。
- ・八潮新都市建設事務所から下水道事業団等と連携協力している。

#### ○企業局

- ・工業用水は、中川流域受水事業者（66社）に利用抑制の協力依頼済。
- ・水道用水は、中川流域に県供給水量の調整に応じる旨要請済。

#### ○警察本部

- ・60人が外周規制、野次馬対策に当たっている。
- ・避難エリアの住戸に個別に安否確認中。

### 2. 知事訓示

- 引き続き、消防・警察・ライフライン事業者など関係機関と連携を密にし、人命救助と被害拡大防止を最優先に、全力を尽くすこと。
- 陥没被害の拡大防止及び影響を最小限にとどめるため、国や市町村、特に八潮市など関係機関と十分な連携を行うこと。
- 避難情報、下水道の使用制限及び交通規制の状況など、必要な情報を遅滞なく県民に提供し、協力をお願いすること。
- 改めて申し上げるが、被害を最小限にとどめるよう、引き続き、全庁の職員が一丸となって取り組む必要がある。ワンチームでの対応をお願いしたい。また、現地に職員等が入った情報では、影響は中長期化する見通しなので様々な側面から地域を支援していくことが大事。県民の皆様には、大変、ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきたい。